

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	21207
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 総合科学部	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (東広島キャンパス) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	目に見えない環境因子の影響を調べてみた —環境科学の最前線—					
	学問分野	番号	43	名称	環境	
3. 担当教員	中根 達人、竹田 一彦、石原 康宏、岩本 洋子 (統合生命科学研究科)					
4. 開講期間 (曜日)	令和7年7月28日 (月)					
開講時間	10時00分～16時20分 (50分×5回)					
個別開講日	1回目 7/28	2回目 /	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /
5. 募集定員	30人 (受入学年: 高校1-3年生、定員超過の場合は高校3年生を優先)					
6. 科目内容・授業計画	<p>大気中や水中の微粒子あるいは化学物質などの多くは目では見ることができませんが、これらの環境因子は私たちの健康や生態系に影響を及ぼしています。産業革命以後に近代化が急速に進み、私たちの暮らしは便利になりましたが、その代償として地球上の環境が急激に変化しています。地球温暖化と大気汚染は大きな環境問題です。最近では、PM2.5やマイクロプラスチックなどの微粒子がヒトの健康に悪影響を及ぼしていることが分かってきました。本講義では、地球上の様々な環境因子の観測や生物への影響について、私たちの研究結果を交えながらお話しします。</p> <p>また、研究室ツアーを実施し、環境研究に触れて頂きます。</p> <p>【講座計画】</p> <p>7月28日 (月) 会場: 総合科学部第1会議室 (集合9:45 集合場所: 総合科学部事務棟正面玄関)</p> <p>第1講 10:00-10:50 講義の概要と環境因子に対する生物の適応戦略 (中根)</p> <p>第2講 11:00-11:50 海の微粒子-プラスチックゴミの末路 (竹田)</p> <p>昼休み</p> <p>第3講 13:30-14:20 大気中の微粒子が気候を変える? (岩本)</p> <p>第4講 14:30-15:20 環境中の化学物質と子供の発達 (石原)</p> <p>第5講 15:30-16:20 広大研究者に聞いてみよう! (全員)</p> <p>昼食後 (13:00-13:30) に「環境研究の現場から」と称して、研究室ツアーを開催します。環境研究がどのように進められるのか、実地で説明します。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 費用負担はありません					
9. 開講条件 ※1 あり・ない	① 最少開講人数 () 人 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日: 6月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 講義で疑問に感じたことを Google form に記載してもらい (無記名)、第5講で議論します。					
開設大学への交通手段	https://www.enica.jp/ → 広島大学 → 交通アクセス → 東広島キャンパス 総合科学部事務棟 M (キャンパスマップ W01)					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。